

答え合わせ・解説

問1	答え 4 与党	政権を担当する政党を与党といいます。これに対し、政権に参加せずに政策の批判や監視を行う政党を野党と呼びます。与党は内閣を支え、政策を実現する役割を担います。
問2	答え 4 小選挙区比例代表並立制	一つの選挙区から一人だけ当選する小選挙区制と、政党の得票数に応じて議席を割り振る比例代表制を組み合わせたものです。小選挙区制は政権交代を促しやすく、比例代表制は多様な民意を反映しやすいという、双方の長所を活かすことを目指しています。
問3	答え 2 1人	小選挙区制では、1つの選挙区から当選するのは必ず1人です。得票数が最も多い候補者が当選するため、多数の意見が議席に反映される一方で、落選者の票（死票）が多くなる傾向があります。
問4	答え 1 普通選挙	現代民主主義における基本ルールであり、日本では1925年の普通選挙法施行により、満25歳以上の男子に選挙権が与えられたのが始まりです。その後、現在は満18歳以上のすべての男女に選挙権が認められています。
問5	答え 4 普通選挙	普通選挙は、こうした経済的な条件や性別による不平等を撤廃し、すべての国民が政治に参加できるようにする原則です。日本では1925年に男子普通選挙が実現し、戦後の日本国憲法下で現在の形が確立されました。
問6	答え 1 重複立候補	候補者は、小選挙区の候補者として立候補しつつ、同じ政党の比例代表名簿にも登載されることが出来ます。小選挙区で惜敗しても、比例代表で復活当選できる可能性があるのが大きな特徴です。
問7	答え 1 野党	野党は内閣を組織していない政党の総称です。主な役割は、国会での質疑や法案審議を通じて、政府の予算案や政策の矛盾点を厳しく追及することです。また、国民に対して別の政策案を提示することで、将来の政権交代に向けた準備を行う役割も担っています。
問8	答え 1 制限選挙	制限選挙とは、性別、財産、教養などの基準を設け、それらを満たした一部の人のみに投票権を認める制度です。しかし、これでは国民全体を代表する政治が行えないとの批判が高まりました。
問9	答え 3 政権交代	政権交代とは、選挙の結果、今まで与党だった政党が野党になり、代わりに野党だった政党が与党となって新しい内閣を組織することです。これにより、政治の行き詰まりを解消したり、新しい政策を実行したりすることが可能になります。
問10	答え 2 死票	死票は、落選した候補者や、当選したものの当選ラインを大きく超えて得票した候補者への余剰票などを指します。死票が多ければ多いほど、有権者の意思が議会に十分に反映されていないという批判が生まれます。
問11	答え 2 選挙無効	選挙無効とは、選挙区の格差が著しく憲法違反の状態である場合や、不正が行われた際に裁判所が出す判決です。これにより、その選挙によって選出された議員の身分が失われる可能性があります。
問12	答え 3 得票率	比例代表制では、政党ごとの得票率に応じて、あらかじめ決まった議席数が割り振られます。この仕組みにより、たとえ一つの選挙区で勝てない政党であっても、全国的な得票率が高ければ議席を獲得することが可能となります。
問13	答え 1 自書式投票	投票所で配布される投票用紙に、有権者が直接候補者名や政党名を記入する方式です。これにより、誰が誰に投票したかが外部から操作されにくくなり、個人の意思がそのまま票に反映されるようになります。
問14	答え 3 比例代表制	投票の際、候補者個人ではなく政党名（または候補者名）に投票し、その得票比率に応じて議席を政党に配分します。これにより、少数意見を持つ政党も国会に議席を持ちやすくなります。
問15	答え 3 間接選挙	直接選挙とは対照的に、有権者は選挙人や代表者を選出し、その選ばれた者たちが最終的な決定権を行使します。現代日本の首相指名選挙がこの仕組みにあたり、国会議員が国民を代表して内閣総理大臣を指名します。